

草の根技術協力（草の根パートナー型）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ブータン国
2. 事業名	東部タシガン県における大学—社会連携による地域づくりに関する人材育成開発支援
3. 事業の背景と必要性	ブータンでは農村部から都市部への急激な人口流出により、過疎をはじめ、離農、保健医療の立ち遅れ、文化の消失などの問題が深刻化しており、これらに取り組むことのできる人材の育成が急務の課題となっている。本事業は、ブータン王立大学シェラブツェ校による“大学の積極的な地域社会への貢献とそのための人材育成”を目的とする GNH Community Engagement Center(GNH-CEC)の設置(2019年)を契機と捉え、農村の問題に自覚をもって取り組む学生、教員、地域住民の人材育成機能の強化、および定着をGNH-CECへの支援を通して実現していく。
4. プロジェクト目標	ブータン東部の農村の地域づくりに取り組む人材育成機能が GNH-CEC に整う
5. 対象地域	タシガン県、およびタシガン県バルツァム郡
6. 対象地域を管轄する在外公館（大使館、領事館、領事事務所）	在インド日本国大使館（ニューデリー）（在ブータン日本国大使館を兼轄）
7. 受益者層（ターゲットグループ）	1. 大学生・教員（ブータン王立大学シェラブツェ校） 2. タシガン県内の Village Health Worker 2. バルツァム郡の住民（行政、保健医療関係者を含む）
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	アウトプット1：GNH-CECにより農村の問題に対して自覚して取り組む人材が育成されるプログラムが計画・実施される（活動：人材育成プログラムの作成・実施支援、ワークショップ、日本での研修） アウトプット2：大学と地域の間社会連携体制が整備・運営される（活動：調整協議会の設置、定期的な会合） アウトプット3：農業及び地域の農業問題に取り組む人材が育成される（活動：モデルファーマー育成、野菜栽培普及プログラムの実施、日本での視察・研修） アウトプット4：健康増進及びプライマリ・ヘルス・ケア強化に取り組む人材が育成される（活動：基礎医療器具の設置とトレーニングプログラム実施、健康増進プログラム支援、日本での視察） アウトプット5：地域資源（文化・自然）を活用した地域づくりに取り組む人材が育成される（活動：民俗資料館、散策道の整備支援、エコツーリズム推進支援、日本での視察・研修）
9. 実施期間	2022年3月～2025年8月（3年6ヵ月）
10. 事業費概算額	80,271.400千円
11. 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学東南アジア地域研究研究所に「JICA 草の根事業室」を設ける ・ブータン王立大学シェラブツェ校をC/P機関とする ・ブータン王立大学シェラブツェ校に「JICA 草の根現地事業室」を設ける ・人材育成プログラム実施のために、GNH-CEC、地域住民、保健局、郡行政、郡農民グループなどからなる「調整協議会」を設置する ・国内研修プログラム実施のための国内の市民団体、自治体を協力団体とする
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人京都大学
2. 活動内容	ブータンの研究・教育機関とのパートナーシップを基盤とした学術交流、および国際協力による健康、防災、農村開発などの社会貢献プログラムの実施